



新宿区

暮らしやすさ1番の新宿
東京オリンピック・パラリンピック関連事業

平成28年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成28年2月17日(水)

事業名	スポーツギネス新宿の推進	予算(案)の概要 93 ページ
予算額	3,950 千円 (新規) (前年度予算額 0 千円)	
取材先	教育委員会事務局教育指導課長 横溝 (電話 03-5273-3078)	

新宿区の現状

- ◆区立学校の幼児・児童・生徒の体力向上については、教員からなる体力向上推進委員会を組織し、そのための施策を検討してきた。
- ◆区立学校の幼児・児童・生徒の体力については、全国及び東京都の実施する調査に加え、平成24年度からは、幼稚園で区独自の調査を実施し、現状を把握している。

小

- ◆体力調査の結果は上昇傾向にある。
- ◆平成23年度から、全ての小学校でスポーツギネス新宿を実施し、各小学校の実態に合わせた取組みが充実している。

中

- ◆体力調査の結果は全国平均を大きく下回り、特に女子に課題がある。
- ◆生徒が意欲的に取り組むことができるダブルダッチを平成26年度より試行している。

平成28・29年度

- ◆小学校は引き続き、全校で「スポーツギネス新宿」を実施
- ◆全ての中学校にダブルダッチを配布、講師を派遣
- ◆「新宿ダブルダッチコンテスト」の実施とDVD配布

今後の展望

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、大会後のレガシー(有益な遺産)となる大会後の新宿区を見据えた教育が推進される。
- 児童・生徒に対して自他の健康に関心をもち、運動やスポーツを通して心身を向上させようとする態度が育まれる。
- ダブルダッチの普及・啓発、講師派遣を進めることで、これまで運動に関心を示さなかった生徒が運動の楽しさに気づき、運動に親しむ機会が増える。

小学校「スポーツギネス新宿」の内容(継続)

区立小学校では、平成23年度から、様々な運動の経験と運動の記録向上を目指す活動を通して、児童に運動の楽しさを味わわせ、運動の日常化と体力の向上を図る取組みとして「スポーツギネス新宿」に取り組んでいる。

各学校で以下の10種目の中から選択して実施し、教育委員会に記録を申請することで、全区立小学校の年間の成績上位者が表彰される。

【実施種目】

- ①フープ2本回し(2本のフープを何秒間回すことができるか)
- ②20mけんけん(片足けんけんによるタイム走)
- ③バレーボール円陣パス(4人以上でパスを何回続けられるか)
- ④バスケットボールシュート(30秒間でシュートを何回決められるか)
- ⑤サッカーリフティング(足などを使ってボールを蹴り続ける)
- ⑥2人組キャッチボール(30秒間で何回キャッチボールできるか)
- ⑦長なわ8の字連続とび(長なわ8の字とびを何回続けてとべるか)
- ⑧3分間長なわ8の字とび(3分間で長なわ8の字とびを何回とべるか)
- ⑨短なわ連続2重とび(2重とびを何回続けてとべるか)
- ⑩短なわ連続3重とび(3重とびを何回続けてとべるか)

中学校「スポーツギネス新宿」の内容(新規)(予算額3,900千円)

区立中学校の生徒の運動への関心を高めるため、授業や業間で実施することができるダブルダッチを導入して中学校版「スポーツギネス新宿」事業を展開し、各学校の教育活動を支援していく。

1 ダブルダッチの縄の購入

各中学校に事業を実施するために必要なダブルダッチの縄を配布する。

2 各中学校への講師派遣

各校へ選手を派遣し、模範演技や実技指導を行い、ダブルダッチの魅力を伝える。

3 新宿ダブルダッチコンテスト

生徒が記録などにチャレンジできる仕組みを整え、上位者の試技によるDVD教材を作成し運動への意欲を高める。

